

現代ギリシャ語学・文学研究のための コンピュータ利用

橘 孝司

現代ギリシャ語学・文学研究のためのコンピュータの利用としては、文学作品のテキストデータ・コンコーダンス、電子辞書を使った語学教育、さらに（実用目的も含めて）ギリシャ語による文書作成のためのソフト等が考えられる。以下この三つについて、筆者の知る限りで、ごくかい摘んで述べたい。

テキストデータ・コンコーダンス

Thesaurus Linguae Graecae（以下 TLG）は American Philological Association の支援により、1972 年カリフォルニア大学アーヴィン校に設立されたプロジェクトで、紀元 600 年までの古代ギリシア語テキストを一枚の CD-ROM に収録するが、今ではその対象を 15 世紀まで拡大している。ただし、12 世紀以降の民衆文学作品は含まれない（これらについては以下に触れるように他大学のプロジェクトがある）。しかし例外として「アレクサンドロス物語」の諸版はほとんど所収されており、その中には「ビザンツ散文版」（16 世紀の四写本に基づく刊行本）、「現代語韻文版」（1529 年ベネチア刊）、「現代語散文版」（1750 年ベネチア刊）が含まれる。TLG の利用法は、片山英男（1992）「L. Berkowitz & K.A. Squitier, *Thesaurus Linguae Graecae Canon of Greek Authors and Works, 3rd Edition*. Oxford UP, 1990 の書評」『西洋古典学研究』XL, 116-120 に詳しい。（CD-ROM の 5 年間のリースは 1995 年の時点で個人 \$500、団体 \$850。）また、TLG のビザンツ期への拡大については、Th. Brunner, *TLG Expansion: The Byzantine Era. Lexicographica Byzantina [Byzantina Vindobonensia Bd. XX]*, (eds.) W. Hörandner & E. Trapp, Wien, 1991, pp. 53-59 参照。

TLG に含まれない後期ビザンツ期の民衆文学についてはイギリスのロンドン大学キングズ・カレッジ (King's College London) でデータベース作りが進められており、英雄詩「ディゲニス・アクリティス」の G・E 版、騎士ロマンス「リビ

ストロスとロダムネ」の五つの版の全語彙の電子版コンコーダンスが完成している。(利用申し込みは Prof. Roderick Beaton, King's College London, Department of Byzantine and Modern Greek Studies, Strand, London, WC2R, 2LS.) さらにこれを基にして「ディゲニス」E版のコンコーダンスが本の形で出版された。(R. Beaton, J. Kelly, & T. Lendare, *Πίνακας συμφραζομένων του Διγενή Ακρίτη E. Concordance to Digenes Akrites, Version E*. Herakleion, Πανεπιστημιακής Εκδόσεις Κρήτης, 1995)。以上のプロジェクトに関しては、次の論文も参照のこと。James Kelly: *Digenis, Livistros and the Computer, Technical Aspects of the King's College Research Project*. *Αρχές της νεοελληνικής λογοτεχνίας* (Πρακτικά του δευτέρου διεθνούς συνεδρίου《Neograeca Medii Aevi》, Βενετία, 7-10 Νοεμβρίου 1991) 2 τομ., (ed.) N.M., Παναγιωτάκης, Βενετία: Ελληνικό Ινστιτούτο Βυζαντινών και Μεταβυζαντινών Σπουδών της Βενετίας, 1993, pp.129-135.

中世クレタ文学では、騎士ロマンス「エロトクリトス」の全語彙のコンコーダンス(4巻本)が昨年発売された(Nτία Φιλιππίδου & David Holton, *Του κύκλου τα γυρίσματα-Ο Ερωτόκριτος σε ηλεκτρονική ανάλυση*. Αθήνα: Ερμής)。Στ. Αλεξίουの校訂本(Ερμής, 1992)を基にしている。CD-ROM版も同じ Ερμής 社から発売予定とのことである。著者の一人は、コンピュータを利用してすでにクレタ劇詩「アブラハムの犠牲」のコンコーダンス本も出版している(Nτία Φιλιππίδου, *Η Θυσία του Αβραάμ στον υπολογιστή: λεξιλογικοί πίνακες και σχόλια*. Ερμής, 1986)。さらには、次の論文も参照。Dia M.L. Philippides: Ο υπολογιστής συνεργός στην υφολογική ανάλυση: γλώσσα και ρίμα στη λογοτεχνία της κρητικής ακμής. *Αρχές της νεοελληνικής λογοτεχνίας*, (ed.) N.M. Παναγιωτάκης, pp. 136-157.

現代作家のコンピュータによるコンコーダンス或いは辞書については詳しくは知らないが、マクリヤニス将軍の「回想録」を対象とした三巻本のコンコーダンスはよく知られている。(N. Κυριαζίδης, I.N. Καζάζης, & J. Bréhier, *Το λεξιλόγιο του Μακρυάννη η πώς μιλούσαν οι Έλληνες προτού βιαστεί η γλώσσα μας από την καθαρεύουσα*, 3 τομ. Ερμής 1983).

また、Π.Α. Μαστροδημήτρης, *Εισαγωγή στη νεοελληνική φιλολογία*. Εκδ. Δόμος, 1983, p.387 には特定の作家を対象とする辞書としてエリティス、カヴァフィス、カヴァディアス、カルヴォス、バラマス、セフェリスのものが挙げられている。(但し、コンピュータを使った完全なコンコーダンスなのか、引用箇所を選択した辞書なのか筆者には分からない。)

語学教育

現代ギリシャ語の電子辞書としては、Τεγόπουλος-Φυτράκης, *Ελληνικό λεξικό* 1990, Εκδ. Αρμονία が9枚のフロッピー版で販売されている。MS-DOS 対応のようである。

英米などで作成されている語学教育用のデータベースに関しては、以下の論文集の第6章 Language and Computers に論文が6点所収されている。I. Philippaki - Warburton, K. Nicolaidis & M. Sifianou (eds), *Themes in Greek Linguistics: Papers from the First International Conference on Greek Linguistics, Reading, September, 1993*. John Benjamins Publishing Co., 1993.

ギリシャ語フォント

三上吉彦・町田和彦編「パソコン外国語製品ガイド'95」インターナショナル・トムソン・パブリッシング・ジャパン（発売元・オーム社）、1995、は外国語フォント、ワープロ、OCR等に関する情報を豊富に収録している。巻末の言語別索引によればギリシャ語製品は42点が掲載されている。「パソコンと世界の言語」の章や各コンピュータ会社のコラムの頁も楽しく読める。（96年度版は出版されていない。）

「プロピレア」の原稿制作に使用しているギリシャ語フォントについて少し述べておきたい。各投稿者のワープロで作成された完成原稿を除くと、(1) DOS用の多言語対応ワープロ KOA-TechnoMate 3 に附属のフォントと (2) Macintosh にインストールしたフォント Laser Greek とを使用している。(1)の販売元は高電社 (TEL 06-628-8880, FAX 06-628-2351)。一書体のみ。(2)は Linguist's Software 社 (PO Box 580, Edmonds, WA 98020-0580, TEL 206-775-1130, FAX 206-771-5911、国内販売元は株式会社イーティーシー、〒115 東京都北区赤羽西 6-27-10, TEL 03-5993-7391, FAX 03-5993-7394)。Windows 用もあり、Macintosh 用と互換性がある。Symbol Greek, Graeca, Greek Sans, Uncial の4書体を含む。最近新しいバージョン (Laser Greek II) が販売された (7書体)。

(附記) インターネットの現代ギリシャ語を読む方法については群馬県立女子大学北野雅弘研究室のホームページ (<http://www.sunfield.or.jp/gpwu/door/kitano/kitano.html>) に詳しい。

【Τεγόπουλος-Φυτράκης の電子辞書の情報は平川茂氏からいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。】